



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2012年09-10週 (平成24年2月27日～平成24年3月11日)

東京都北区感染症情報センター 電話 03 (3919) 3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開をしています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j.html>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数報告感染症及び定点感染症(週報告)

I 全数報告感染症(週別)

対象疾患	2011年	2012年							
	累計	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	累計
(二類感染症) 結核 (注)	138	3	2	2	4	3	2	2	21
(三類感染症) 腸管出血性大腸菌感染症	3	0	0	0	0	1	0	0	1
(三類感染症) 細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	0	2
(三類感染症) 腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症) A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症) レジオネラ症	1	0	0	1	0	0	0	0	1
(四類感染症) レプトスピラ症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) アメーバ赤痢	1	0	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) 後天性免疫不全症候群	6	1	0	0	0	0	0	0	1
(五類感染症) 梅毒	0	0	0	0	0	0	0	0	1
(五類感染症) 麻しん	4	0	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) 風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 結核は新規登録者数

II 直近4週間の定点感染症報告数(週報告)

対象疾患	※定点医療機関数	2012年							
		7週		8週		9週		10週	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
RSウイルス感染症	7	0	0.00	0	0.00	1	0.14	3	0.43
咽頭結膜熱	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	3	0.43	10	1.43	9	1.29	5	0.71
感染性胃腸炎	7	39	5.57	42	6.00	24	3.43	20	2.86
水痘	7	3	0.43	2	0.43	1	0.14	7	1.00
手足口病	7	0	0.00	1	0.00	0	0.00	0	0.00
伝染性紅斑	7	0	0.00	0	0.00	2	0.29	0	0.00
突発性発しん	7	6	0.86	6	0.86	3	0.43	1	0.14
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎	7	6	0.86	2	0.29	7	1.00	3	0.43
川崎病 (注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
不明発しん症 (注1)	7	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.14
インフルエンザ (注2)	11	465	42.27	334	30.36	254	23.09	213	19.36
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	1	1.00	0	0.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

Ⅲ 概況

■全数報告感染症

細菌性赤痢2名（第10週）、結核の新規登録は第9週2件、第10週2件。その他の発生はなし。

■インフルエンザ

東京都では、2月2日にインフルエンザの流行警報を発令しました。

北区では、第07週42.27から第08週は30.36、第09週23.09、第10週19.36と減少しました。国及び都でも減少傾向に転じていますが、依然警報基準（30.0）を超えた状況です。また、インフルエンザA型に対してB型の割合が増加しています。

集団感染も依然報告されており、家庭、学校及び施設等での咳エチケットの徹底等の感染予防対策を万全を期してください。

●インフルエンザの警報発令（東京都プレス発表）<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/02/20m22500.htm>

■感染性胃腸炎

北区での発生は、第08週6.00から第09週3.43、第10週2.86と減少していますが、今後の動向を見極める必要があります。

集団発生も依然続いており、引き続き、家庭、学校及び施設等での手洗い等の感染予防対策を万全を期してください。

●感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■その他の定点報告感染症

水痘、突発性発しん及び流行性耳下腺炎等の発生がみとめられますが、特異な発生とはなっていません。

Ⅳ 医療機関からのコメント

■（王子地区）インフルエンザは急激に減少しています。（第09週）

■（滝野川地区）インフルエンザはなだらかな減少傾向にあります。10～14歳の学童は殆どB型です。（第09週）

■（赤羽地区）インフルエンザA型15名、B型42名（第09週）、インフルエンザA型8名、B型30名（第10週）

■（王子地区）インフルエンザのピークは過ぎています。依然多く、B型の発生が多くみられます。（第09週）

■（王子地区）減少傾向にあったインフルエンザが再び増加しています。B型の発生が目立ちます。（第10週）

Ⅴ 注意情報・お知らせ

■インフルエンザ

東京都は2月2日にインフルエンザの流行警報を発令しました。

東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/02/20m22500.htm>

■マイコプラズマ肺炎

例年に比べ、今年はマイコプラズマ肺炎が、都内で流行しています。

東京都の基幹定点（都内25定点）からの報告では、9歳未満の児童が7～8割を占めています。

■RSウイルス感染症の流行状況

RSウイルス感染症は冬に流行する感染症で、例年12月から1月にかけてそのピークを迎えています。

冬に向けてさらに報告数が増加してくるものと予想されますので、今後の推移について、より一層の注意が必要です。

●RSウイルス感染症情報（東京都感染症情報センター）

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rs-virus/index.html>

■インフルエンザ及び感染性胃腸炎による集団発生状況の報告の開始

冬場に集団発生が懸念されるインフルエンザ及び感染性胃腸炎の集団発生について、東京都では、保育園、学校等及び老健施設等での調査を開始します。

■新型インフルエンザ対策行動計画の改正

国は9月20日の新型インフルエンザ対策閣僚会議において新たな「新型インフルエンザ対策行動計画」を決定しました。

今後、具体的なガイドライン及び東京都及び北区における対策方針が策定されます。

適時、ホームページにて公開していきます。

■麻しん

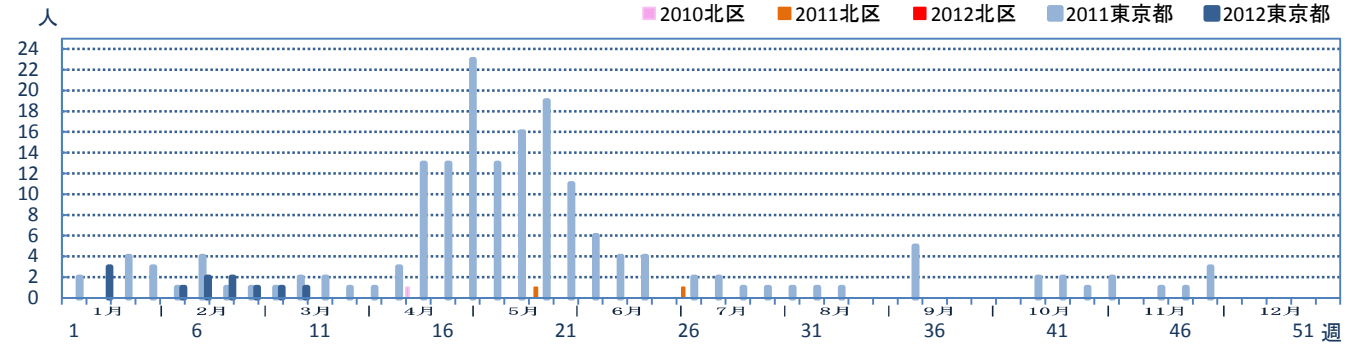
国では、麻しん排除計画を策定し、2012年までの排除達成を進めています。麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

●予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

VI 感染症別グラフ

VI-1 全数報告感染症

■ 麻しん

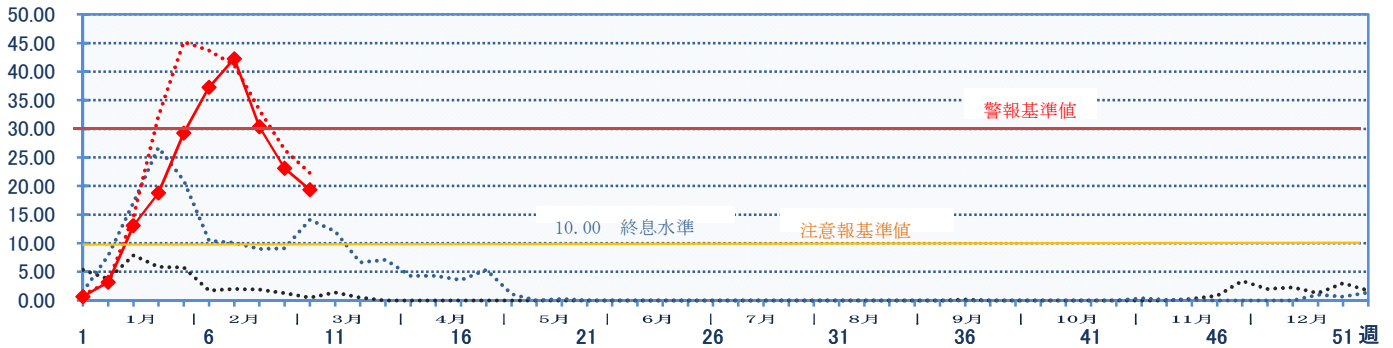


VI-2 内科定点疾患

■ インフルエンザ

定点医療機関あたり報告数

2010北区 2011北区 2012北区 2012東京都

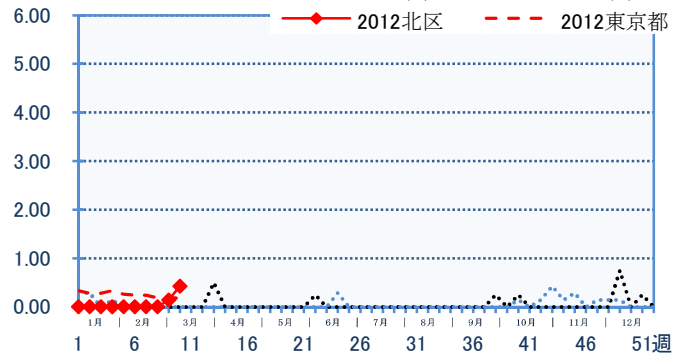


VI-3 小児科定点

■ RSウイルス感染症

定点医療機関あたり報告数

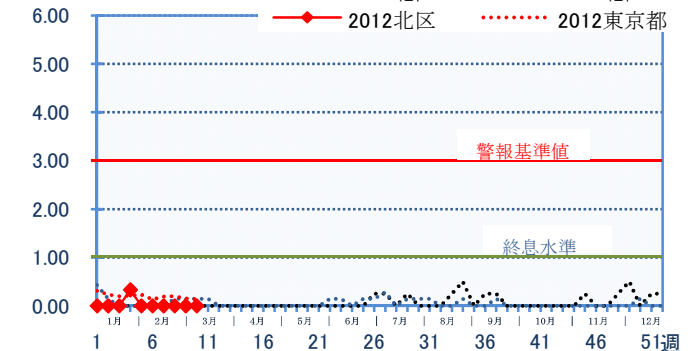
2010北区 2011北区 2012北区 2012東京都



■ 咽頭結膜熱

定点医療機関あたり報告数

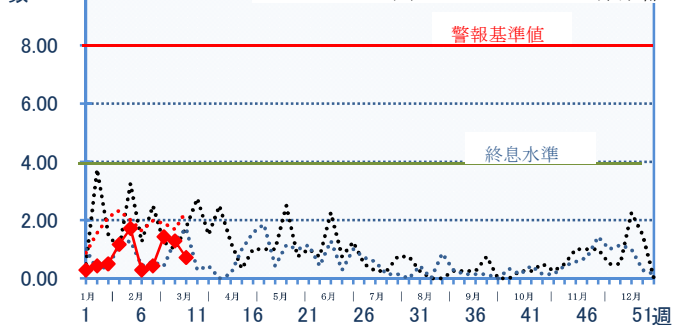
2010北区 2011北区 2012北区 2012東京都



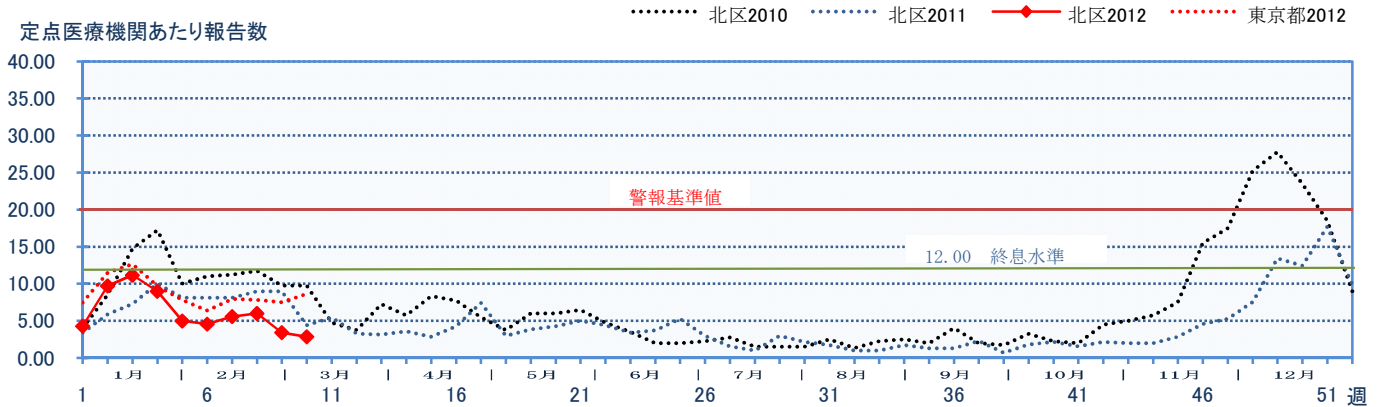
■ A群溶血性レンサ球菌

定点医療機関あたり報告数

2010北区 2011北区 2012北区 2012東京都



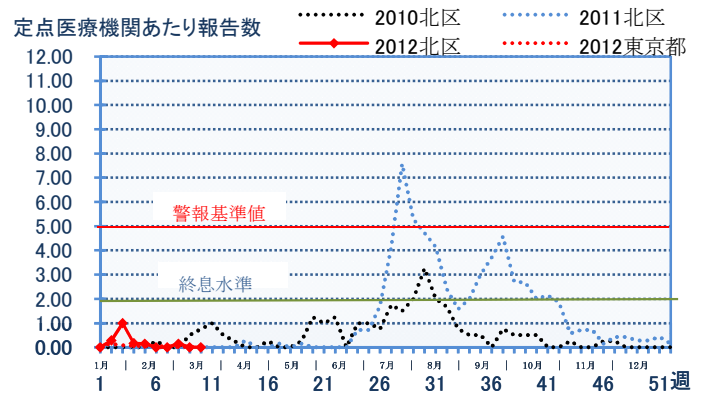
■ 感染性胃腸炎



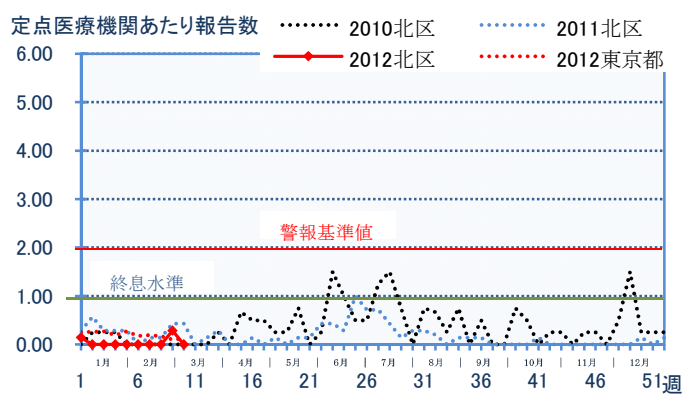
■ 水痘



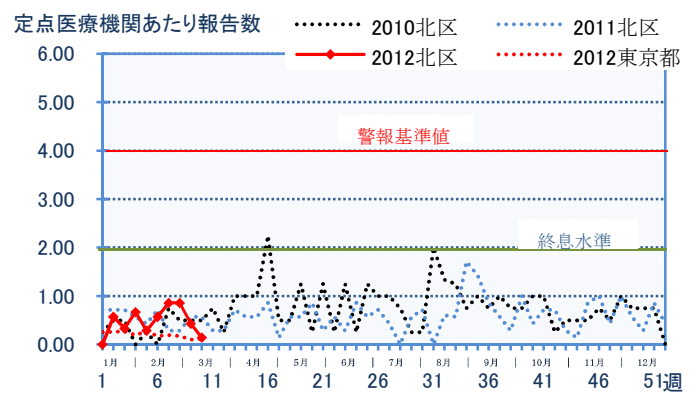
■ 手足口病



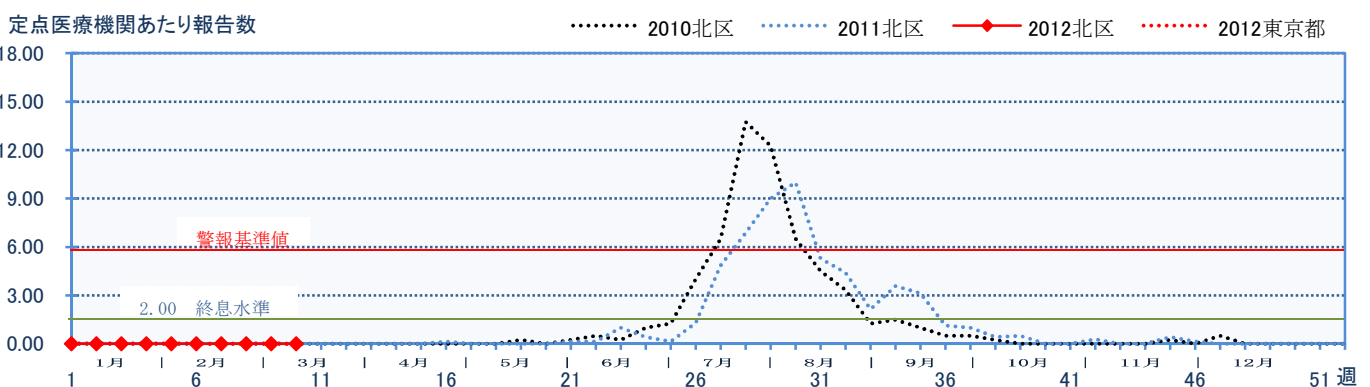
■ 伝染性紅斑



■ 突発性発しん

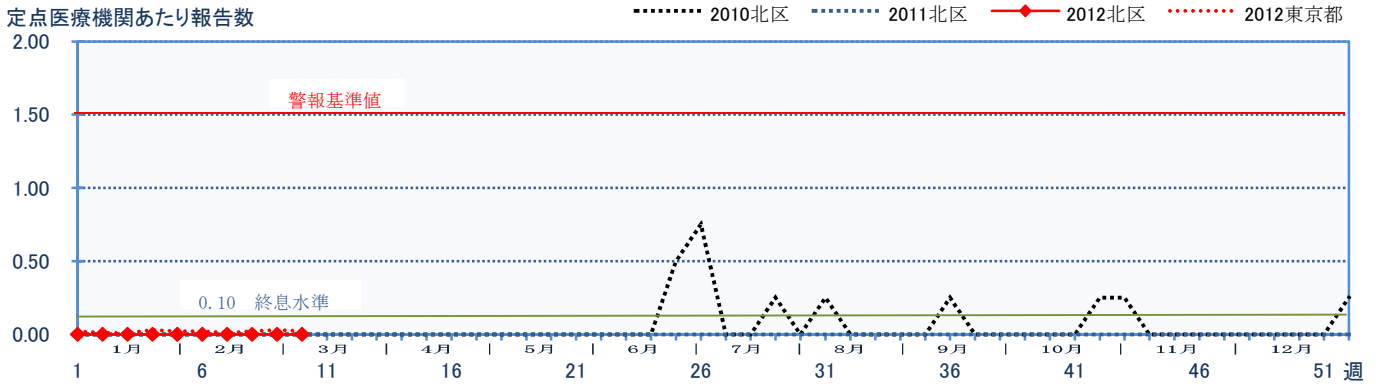


■ ヘルパンギーナ



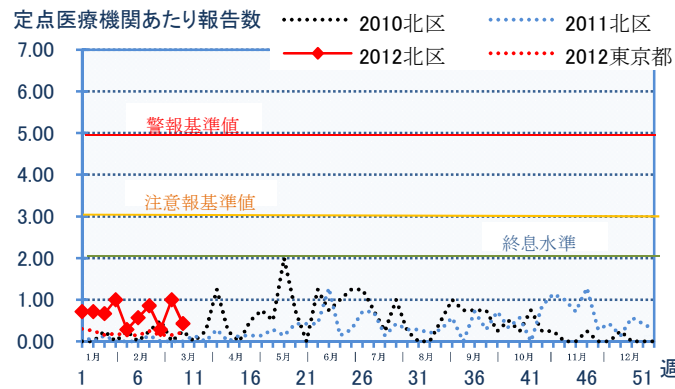
■百日咳

定点医療機関あたり報告数



■流行性耳下腺炎

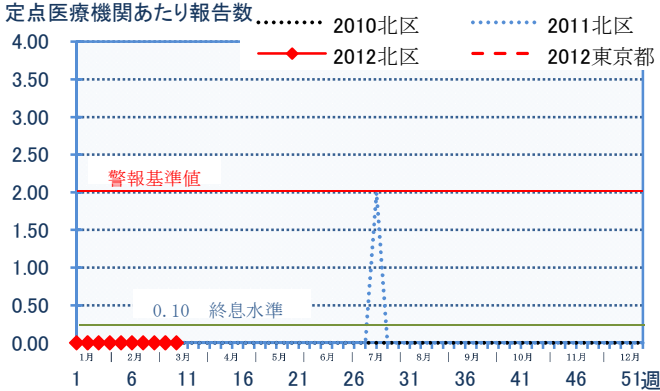
定点医療機関あたり報告数



VI-4 眼科定点

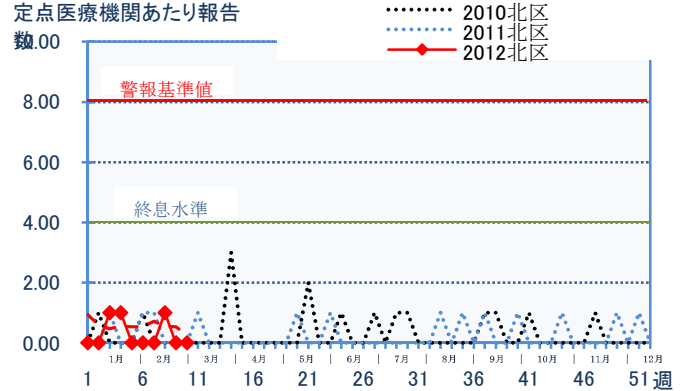
■急性出血性結膜炎

定点医療機関あたり報告数



■流行性角結膜炎

定点医療機関あたり報告数



VI-5 東京都独自指定疾患

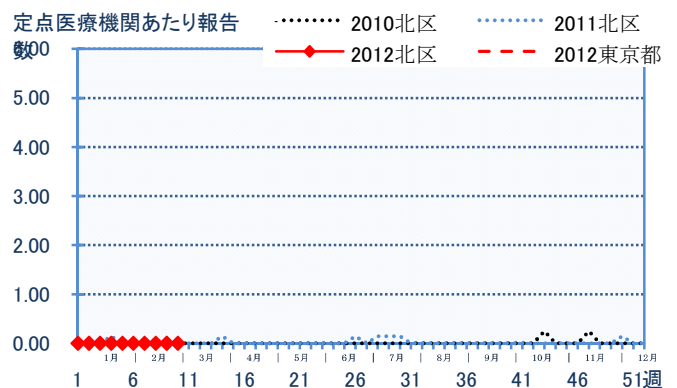
■不明発しん症

定点医療機関あたり報告数



■川崎病

定点医療機関あたり報告数



定点感染症(月報告)

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までが掲載されています。

月報告がされた段階で、適宜更新いたしますので、該当週をご参照ください。

※2012年3月分は2012年第14週にて公開予定です。

I 直近4ヶ月間の性感染症報告数

対象疾患	定点医療機関数	2011年				2012年			
		10月		11月		1月		2月	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
性器クラミジア感染症	1	0	0.00	2	2.00	2	2.00	0	0.00
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
尖圭コンジローマ	1	3	3.00	1	1.00	2	2.00	2	2.00
淋病感染症	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
トリコモナス症(注)	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
梅毒様疾患(注)	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

II 過去12カ月の性感染症報告グラフ

